



会報

2018 ▶ 2019
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ
会長目標

親睦と奉仕、 閃きと実行

会長／大嶋 孝広 幹事／堀 光輝

インスピレーションになろう

プログラム

● 本日

「ラグビーワールドカップの楽しみ方」

田中 卓 卓会員

結婚記念日

中 出 敏 彦

中 井 祐 史

● 次週予定

IM実行委員会打ち合わせ

No. 2823

第37回 4月24日

出席報告

前例会

会員総数	34名
出免会員	2名
出免出席	2名
基準会員出席	18名
出席率	58.82%

前々例会

第33回 3月20日

欠席会員	20名
内メイクアップ	5名
修正出席率	55.88%

例会／毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F



会長報告

- 4月15日に社会奉仕委員会、青少年奉仕事業として、留萌市幼児療育通園センターに社会奉仕委員長と共に寄贈して参りました。後ほど委員会報告があると思います。
- 昨日、深川RCへ4月20日に開催される60周年記念式典の登録メンバーを知らせに行つて参りました。IMと2年後に開催する留萌クラブ60周年の事業が控えているため、皆様には無理な登録をお願いしました。ご協力いただきありがとうございます。

受領しました。

- 先日行いました米山全国100円募金運動で、我がクラブは4200円集まり、直ちに送金致しました。



委員会報告

社会奉仕委員会

燕委員長

先ほど会長報告でもありましたが、4月15日に青少年奉仕事業として留萌市幼児療育通園センターに遊具を寄贈して参りました。5月29日の例会が社会奉仕委員会の担当例会となっております。ビデオ撮影しておりますので、皆様にお見せいたしたいと思っております。お楽しみに。



幹事報告

- 赤平RCより、3月会報を受領しました。
- 妹背牛RCより、3月会報と4月例会案内を

ニコニコBOX

- 先週に引き続き阜月賞もいただきました。
大嶋会長
- IM開催まで1ヶ月を切りました。大変だ！
皆さんご協力お願いします。 鈴木会員
- 15日、青少年奉仕事業の贈呈式を行いました。
燕会員

前 回	717, 152円
今 回	6, 000円
累 計	723, 152円

プログラム

「地区協議会報告」

串橋 次年度幹事

4月14日、千歳の地区協議会に参加して参りました。3月中に堀幹事より事前に資料を頂いておりまして、幹事の役割と責務に始まり、クラブの管理運営、クラブリーダーとの協力、クラブ財務の管理について決め、細かくA4用紙15枚の両面に書かれた資料でした。未だロータリーの口の字も理解していない私には、気の遠くなるような内容の資料でしたが、大変充実した年になるよう、しっかりと読み込んでいこうと思います。また、その資料を見た時に、今まで幹事を歴任された方々に大変ご苦勞様でしたという言葉が思い浮かびました。

さて、当日は幹事としての初仕事をさせて頂きました。大した事ではございませんが、登録された会員に受付と参加資料の配布でございました。本会議は10時より福田ガバナーエレクトの点鐘に始まり、ガバナー挨拶で2019~2020年度のロータリーテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」、地区目標「自分を見つめ直し、若者を支援し、ロータリーの未来を語ろう」が発表されました。休憩を挟み、13時より第2分科会に参加させて頂きました。次期幹事への漫談を交えた羽部パストガバナーのお話に始まり、地区財団補助金プログラムについて、クラブを成功に導くリーダーシップ幹事編、幹事の役割と任務

で第2分科会が終了しました。感想と致しましては、堀幹事より事前に受け取った資料やテキストに記載されている通り、幹事の役割は広範囲であるの一言に尽きます。果たして1年間全う出来るかどうか不安な気持ちになった分科会ですが、肩ひじ張らずに頑張っていこうと思っております。羽生パストガバナーの漫談から学んだ事があります。幹事は会員ファースト、クラブファーストを常に意識し、元気なクラブづくりをどう実践していくかを考える事が重要であると感じました。形にとらわれる事なく、会員皆様のアイデアがクラブを作り、成長させるような柔軟なクラブ運営を心がけていきたいと思っております。本会議の後に世界大会のお知らせがありました。2020年6月6日から10日にホノルルにて開催される運びとなっております。次年度会長からは協調項目として家族の重要性もうたわれています。次年度留萌クラブの6月6日の例会は法定休会を設けてありますので、ぜひ家族で世界大会への参加を考えてみてはいかがでしょうか。

最後に、留萌での安着祝いは5名にて開催され、実りのある1日となりました。次年度に向け良いスタートが切れるよう皆様のご協力をよろしく申し上げます。以上です。

森(将)次年度会員増強委員長

私は第3分科会クラブ奉仕部門に参加して参りました。参加者は、私と鈴木さん、辻本さんの3人です。内容を説明させて頂きますと、次期地区クラブ奉仕副委員長の小樽南RCの松浦さんのお話で、クラブ機能の充実させるためにクラブ内で会員がとるべき行動の親睦活動とクラブ活動を充実させること。ロータリーの基本原則は加盟クラブの実質的な実施であり、ロータリー独自の特徴を保持すること。RIの方針の解釈等に柔軟性が適用される。2016年規定審議会では例会月に2回、どの位の頻度で例会を開くか、何を持って例会とするか、全員の身分について新しい試みが出来る柔軟性と活気あるクラブづくりを目標とする上で増強が必要で、全員の満足度を高めるために会則の変更がある

革新性、多様性、柔軟性、自主性を持って進めて参ります、と話されておりました。広報IC委員会次期地区委員長の武蔵さんがお話になり、活動内容は、ホームページを管理、ガバナー月信の発行、会員内の動向を共有し発信すること、各クラブからの情報提供が大事なのでどしどし提供してくださいとの事でした。ホームページでは、目標のシェア、活動の成果を確認できるクラブデータをグラフ化できる、分野別に目標が立てられる、クラブのデータを1箇所記録できるなどなど。また、ロータリー情報次期委員長の札幌南RCの堀本さんがお話になられ、小山ガバナー年度より新設された委員会で、各クラブの活動状況を他のクラブへ情報発信する事を目的としたものでしたが、ガバナー月信3月号にて発信しましたが、まだ反応が鈍い状況とのことでした。

次にRLI次期委員長の札幌西北RCの渡辺さんがお話になり、RLIの意味でロータリー・リーダーシップ研究会の講習が6月8日からスタートし、2回目が7月20日に実施されます。

グループディスカッションでは自由な討議に参加し、注意深く他人の意見を聞きましよう。経験を語り合いましよう。本題を忘れないようにしましよう。他人の発言に寛容に、反論や否定はしない。自分と違う意見に感謝しましよう。発言は短く的確に行いましようと話され、その後ディスカッションが行われました。内容はガバナー月信に掲載され累予定です。以上です。

関野 次年度社会奉仕委員長

入会2年目、初めての地区研修・協議会参加であります。昨年札幌で開催された地区大会は半分以上観光気分での参加でありましたが、今回は次年度社会奉仕委員長ということで、前回とは違い心地良いプレッシャーを感じながらの参加でありました。また、地方開催ということもあり、JC(青年会議所)時代の仲間にもたくさん会うことができ、中には「次年度函館クラブの幹事なんですよ!」という仲間もいまして、改めてRCクラブのスケールの大きさを感

じました。

そして、いよいよ10時より地区研修プログラムスタートであります。国歌独唱・ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱から始まり、この場面、ソングリーダーである指揮棒を振っていた方も私のJC時代の友人でした。笑いが止まりませんでした。このおかげで午前のプログラムは順調に寝ることはなく、次年度地区役員の講演プログラムへ。印象に残った講話として、福田ガバナーより、リーダーとは自分の支持者(フォロワー)を増やすことではなく、自分にかわる、そして自分以上のリーダーを育成することこそが真のリーダーである、こんな熱いお話を…たしかにされていたかと思えます。

続いて昼食を挟み、いよいよ第5分科会社会奉仕部門への参加であります。こちらは2510地区次年度社会奉仕委員長の51名の参加でありました。見渡す限り、年齢も風格も私から見るとほぼ人生の諸先輩にあたる方々ばかりでありました。途中、会場までの道のりを間違いまして、お席の方も最前列に座ることになり…ある意味、留萌クラブ次年度社会奉仕委員長の意気込みを見せつけて参りました。

分科会の内容については、次年度高山社会奉仕委員長(札幌東RC)より、今年度の胆振東部大地震による活動報告及び地区補助金の活用についての説明があり、2510地区各クラブ社会奉仕事業の案件を題材にワークショップを開催し、他クラブの皆さんと地域が求める、また求められている奉仕事業のあり方について、情報交換をさせて頂きました。

改めて、各クラブの事業や取り組みについて、多くの気づきと学びを得ることができ、大変有意義な時間でありました。

また、この度地区研修でこちらの分厚い冊子を頂いて参りました。次年度国際ロータリーマーク・ダニエル・マローニー会長テーマは「ロータリーは世界をつなぐ」であります。こちら冊子の1ページの一文に、ロータリーに礎は「つながり」と書かれてあります。ポール・ハリスがロータリークラブを創設した最大の理由、それは見知らぬ街で様々な方と「つながる」

ことであつたそうです。これを機に普段地元クラブでは感じることでできない人と人とのつながりを大切に、ロータリーネットワークを十分に活用して、次年度以降地域の奉仕活動を実践していきたいと強く感じました。

今回、素晴らしい成長の機会を与えていただいたクラブ、福士会長に感謝致します。以上、報告とさせていただきます。ありがとうございました。

西原 次年度国際奉仕委員長

私は国際奉仕委員会とV T T委員会の会合に参加させて頂きました。まず最初に自己紹介から始まり、会議が始まりました。国際奉仕委員会のテーマがありまして、「世界に対して良い事をしよう」であります。世界に対して奉仕をしようと言っても自分がどの様に携われるのか、結果がどの様になっているのかがなかなか理解しづらい所があるかもしれません。今回私が参加させて頂きまして、少しづつですが学びと勉強があつたと思います。皆さんにこの思いを共有して頂ければと思っております。

大きな2つの事業からなっておりまして、国際奉仕事業と社会訓練事業で、V T T委員会とは社会奉仕委員会事業に入っています、職業研修チームという英語の略です。国際奉仕事業では世界の子供達や地域の住民の皆さんに人道的な支援を行うものであり、特に水の確保が出来ない、トイレが無い、教育の整備が整っていない等の地域に対して行われる事業であります。職業訓練事業に対しては、例えば農業職業訓練、理美容職業訓練、設備・機器の援助を行う事を事業としています。

2510地区では以前からタイの東北部で、地方都市に対して事業展開を行っています。先日、西谷会員の方からも結果報告がされましたが、事業に対しての研修、結果の報告も毎年出されています。今年度18年度から19年度の事業予算から34クラブから246万円預かり、プラス財団補助金と知的偉業費を合わせて総額430万円が総額の事業費となっています。各クラブが各々出資していますが、各クラブはいずれかのクラ

ブと合同で一つの学校、または地域に支援をしています。例えば今年度留萌のクラブは、羽幌と深川のロータリークラブと札幌西のロータリークラブと合同でタイのノンカイRCを通じて、ドンチャルン高校?に図書事業費としてトータル6万バツ日本円で21万円ほどの事業として出資をしています。大切なのは自分のお金がどこに行ったのか分からないと言うのがよくありがちですが、地区のV T T委員会が総まとめを行い、事業展開の総まとめが第一であつて、実際は各クラブが主体でやっているという事を理解していただきたいと思います。

最後に、次年度の事業プランとして同じようにタイの東北にあります、3340地区にあるノンカイクラブを通じまして図書事業、奨学金事業、クリーンウォーター事業、職業訓練事業の4事業を展開していくという事でありました。地区補助金、国際補助金も合わせまして昨年度と同じような額で行うという事で、各クラブの申請は5月31日までに提出してくださいとの事でした。以上です。

(次週につづく)